

理 科 部 門

総 評

今年は、小学校低学年を中心に優秀な作品が数多く集まりました。年々、作品の研究内容やその手順、まとめ方などのレベルが高くなり驚かされます。と同時に、たくさん子どもたちが、意欲的に、また真剣に自由研究に取り組んでいることを非常に嬉しく思いました。

ただ、応募作品の研究レベルの高度化に伴って子どもの素朴さが失われていくのが気になります。今回は、特に子どもらしい素朴さ、愛らしさを大切にし、慎重に審査しました。

子どもらしい自然な発想で、自分なりの疑問を持ち、問題・解決に取り組むことを期待します。

ONE POINT アドバイス

この作品は、カブトムシについて、食べ物や体とはたらき等を子どもらしい発想と細かい視点で詳しく調べた作品です。

ただ、調べたことと観察したことが不明確です。本で調べたことは分けて書いたり、参考文献を明記したりすると、より良い研究になります。



▲「カブトムシのけんきゅう」
神奈川県東海岩小学校
二年 長谷川 彬